

魅力ある屋島再生協議会「にぎわい創出部会」
平成26年度 重点取組事業における貴団体の取組について(回答とりまとめ)

所属	国土交通省 四国運輸局企画観光部 観光地域振興課	屋島山上観光協会	高松市 観光ボランティアガイド 協会	香川県 商工労働部観光交流局 観光振興課	四国旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部営業部	公募委員	高松市 観光交流課	源平屋島地域運営協議会
委員名	荒木 昭博	稲田 稔	尾野 勇	加藤 敬	斉藤 益男	高山 直樹	長井 一喜	新谷 稔
今年度、事業実施に向けて、貴団体で取り組むこと	特になし	屋島山上観光協会では観光ルートの開発商品化は実施していない。当店(南山)では、首都圏の旅行代理店に屋島観光(食事、観光)の誘致を取組んでいる。今年(1月~8月)の期間約4000名の観光客が来店、屋島観光しており、更に誘致努力を旅行代理店に働きかけているが旅行商品の収益性が低いためにドライブ通送料(2520円)が障害になっている。行政から一台1000円補助できれば屋島を選びやすくなると思われる。団体を受け入れている店は複数あり、全体の店にもよい効果が期待できる。	観光客に喜んでもらえるガイドをする	緊急雇用創出基金事業「うどん県ニューツーリズム提供事業」により運行している、うどん店と観光地を巡る定期観光バスのコースの拡充を検討。	・弊社企画旅行商品「四国タクシー観光プラン」について、高松駅出発、屋島駅出発の『屋島観光コース』のプランを設定し、屋島への観光誘客を図っている。 ・元気YASHIMAを創ろう会にご協力をいただき、毎週土曜日に、屋島駅出発のガイド付き定時ウォーク『屋島山頂 歴史・文化・絶景コース』を設定し、大都市圏の主要旅行会社へ提案して、四国着地旅行商品に情報を掲載いただき、屋島エリアへの観光誘客を図っている。	特になし	国内誘客促進事業として、本市観光地等の一層の知名度向上と、空路で一時間という利便性を広くPRするため、日本航空株式会社と連携し、観光キャンペーンを企画・実施する。 屋島についても、同キャンペーンにおいて、日本航空株式会社のホームページや機内誌等の媒体により、情報発信する。	○ことடன்バス八栗駅、源平観光案内所のリニューアル ○おへんろの父 真念さんのクローズアップ事業を開催して新しい観光素材の発信 ○源平史跡のフラッグ設置
No.15「観光ルートの開発・商品化・宣伝」 より効果的に事業を実施するためのアイデア等	ありきたりなことです。魅力のあるモニターツアーを開発・実施し、アンケート等で検証のうえ改善。改善を行った後、モニターツアーを実施する。繰り返し行うことでよりいいものができ、満足のいくものができたところで商品化し、情報発信する。	百万円の予算で通送料バス一台1000円の補助。1000台のバス補助ができる。			・観光ルートの商品化の際は、四国外からのお客様を想定しなければ、利用増につながらないと考える。 ・「駅からの出発」や「ガイド付きツアーの設定」を考慮する。旅行会社の商品への掲載をするには、開始日の半年くらい前までの実施決定が必要となる。	特になし	地元目線の企画・情報発信だけではなく、外部の目線や意見を取り入れて、屋島を再評価する必要がある。 そのため、固定観念にとらわれず、地元企業や地域住民、地元人だけでなく、市外の企業や人材が提案する企画等に目を向ける必要がある。	高松駅⇄屋島山上⇄源平案内所の情報発信拠点のネットワーク化をはかる。
今年度、事業実施に向けて、貴団体で取り組むこと	特になし	屋島山上観光協会では元旦の御来迎式を毎年、改善を加えて、地元の方の皆様に好評なものとなり効果をあげた。春四月には弁慶餅つき大会も好評であった。しかし資金的に限界があり、秋にも毎回開催することは難しい。資金があれば、秋にも何回か開催することができる。屋島寺も非常に前向きなのでよい開催行事だと思う。一回の費用は15万円くらいであった。とくにキナコ餅がよかったので、これを中心にするばよい。それに合わせた費用のかからない行事を検討する。	今夏は、ガイド時間を延長してやってみる。	地域主体の様々なイベントに、観光PR隊「うどん県おいでまいキャラバン隊」を派遣し、屋島をはじめとする観光名所のPRを行う。	・弊社単独でのイベント実施は予定していない。 ・「むれ源平石あかりロード」については、古高松駅における実施場所への誘導看板の設置協力、高松駅での石あかりロードPRコーナーの設置スペースの提供を行い、同イベントへの誘客を図っている。	特になし	夕・夜景フェスタ、満月まつり、ふれあい祭り庵治、むれ源平 石あかりロード等の各種イベントに対して補助を行うとともに、地元・関係団体から提案された企画について、調整する。	屋島山上からの夕日、夜景と石あかりをめぐる、観光バス「源平ナイトクルーズバス」を試行運行
No.26「屋島地域交流イベントの開催」 より効果的に事業を実施するためのアイデア等	屋島付近住民に屋島で誇れるもの、好きなお店などをあげてもらい、それらを組み合わせイベントをする。地元の人がいちいと思うものが一番だと思います。	弁慶の餅つき大会を春だけでなく、秋にも毎回が実施する。(俳句大会の実施)。(餅つきとは別に開催)	ガイドの質の向上。(接客・知識)子供達によるガイド		・四国外からのお客様にお越しいただくためには、ウェブやSNS上などでの告知強化、早めの情報告知が必要だと考える。	特になし	より自由な発想や手法でイベントや団体の運営を行うためには、団体間の交流を促進する必要がある。	・高松市内の宿泊施設のHPなどを通じてのPR ・高松観光案内のHPなどを通じてのPRの強化 ・観光エージェンツへのPRの強化

魅力ある屋島再生協議会「にぎわい創出部会」
平成26年度 重点取組事業における貴団体の取組について(回答とりまとめ)

所属	高松琴平電気鉄道株式会社	元屋島会議公募委員	公益社団法人 香川県観光協会	公益財団法人 高松観光コンベンション・ビューロー	公募委員
委員名	西谷 拓哉	藤岡 純子	古吉 貢	宮崎 武士	森岡 純
No.15「観光ルートの開発・商品化・宣伝」	今年度、事業実施に向けて、貴団体で取り組むこと	屋島夕夜景フェスタ開催期間中のシャトルバス増便 (7/19(土)7/20(日)7/25~9/13までの金曜日・土曜日の計18日間)	特になし	源平合戦の古戦場をめぐるツアーなど、テーマ性を持つツアーを考案し、旅行エージェント等に提案して、旅行商品の造成を働きかけることを検討したいと考えている。	・着地型旅行商品の開発 (現行、源平合戦ゆかりの地コースを着地型商品として販売中) ・展望台(特に夕景)としての屋島をPRする。 ※外国人客には源平合戦(歴史)を売り込んで自分たちの歴史にはまず出てこないで、理解しにくいと考えられる。
	より効果的に事業を実施するためのアイデア等		◎地元新聞社とのコラボレーションによる「史活(しかつ)」遠足(仮称)の実施 (概要) 既に実績のある人気企画で、地元新聞社と各企業が共催で行っている「酒蔵巡り」や「○○工場視察ツアー」を参考に、屋島を含めた歴史資産のバスツアー(遠足)を展開する。(※史活・・・婚活、就活等と同様の意味合いとして、ご提案です。) ◎旅行代理店とのコラボや、WEBでのツアー企画掲載 (概要) 旅行代理店の冊子・チラシ等への掲載や、WEB(楽天トラベル、じゃらん、るるぶ等)へのツアー掲載による広域への宣伝活動を展開する。	特になし	(新規のアイデアとして) 市内⇄屋島山頂(往復@2,000円~3,000円程度)の定額制とする。 行政とタクシー協会が連携し料金交渉して実現化を目指す。観光案内所などで入手出来る割引(定額)チケット持参者を対象として実施する。2~3年を目途に実証し継続を検討して行く。 コンベンション・ビューローはチケット配布やPR活動を行う。
No.26「屋島地域交流イベントの開催」	今年度、事業実施に向けて、貴団体で取り組むこと	・第10回むれ源平石あかりロード記念事業への協賛 ①イベント日限定企画切符の発売 ②石あかり電車の運行 ③石あかりガーデンの設置(瓦町2Fコンコース) ④キックオフイベントの開催 8/9(土) 瓦町駅 ・IruCaファミリーウォーク屋島登山(毎年実施、※今年度実施済) 4/12(土) 75名参加・協力:里山ボランティアガイド組合	特になし	特になし	・屋島地区イベント情報の発信。 ツーリズムExpoジャパン出展時、観光誘致訪問時などでの積極的な情報提供の実践。
	より効果的に事業を実施するためのアイデア等	・駅構内、社内でのイベント告知 ・ヘッドマーク設置運行など	◎屋島山上映画フェスタの開催 (概要) 屋島山上に特設スクリーンを設置し、話題の映画や各国の人気映画を上映する。 山上のロケーションとマッチし、芸術的イメージを促進できる。 また、同時に各種屋台の出店も行い、定期的に継続開催することで活性化を図る。 ◎屋島山上マルシェの開催 (概要) 現在、サンポートで開催中のマルシェを定期的に誘致し、屋島でも開催してもらう。 ◎サンポート地区とのイベント連携開催 (概要) 上記のマルシェを含め、現在サンポートで実施されている各種イベントで屋島山上でも実施可能なものを誘致する。もしくは連携開催し、イベント拠点としての展開を継続的に行っていく。	特になし	(新規のアイデアとして) ・コンベンション・ビューローが実施している「観光プロモーション事業」として次年度も重点取り組みとして支援する。 ※本年度、山上施設の改築事業者を支援。